

# かみそNOW

上祖師谷自治会総務部広報委員会 TEL / FAX 03-5315-3646

住んで楽しい、災害に強い、安心安全のまちをめざして、役立つ情報やできごと、お知らせなど、上祖師谷の「いま」をお伝えする地域のしんぶんです。

## 心に刻む、故郷の祭り 神明社例大祭

9月30日・10月1日(土・日)

10月1日午後6時、7時間かけて上祖師谷を巡行した神輿が戻ってきた。この日は夏を思わせる天候で、途中担ぎ手に疲れも見えたが、今は、どの顔も満足感でいっぱいだ。境内を埋め尽くした人垣の中で、右に左に、前に後ろに、セーヤセーヤの掛け声とともに神輿が揺れる。いよいよ今年の例大祭のクライマックスだ。

今年の例大祭はいつも以上に人が多く、射的や金魚すくい、あんず鉢・40店ほどの露店は賑わい、奉納演芸には盛んな拍手が上がっている。祭と言えば子どもの頃の故郷の祭を思い出す。日本海に面した小さな町で、その頃はテレビもなく年一回の祭りが楽しみだった。親からもらった幾ばくかの小使いを握りしめ参道の両側に並ぶ露店を覗いて品定めをする。裸電球に照らされたテントの列はいつもでも心に残る故郷の風景だ。

上祖師谷の子どもたちも大人になりこの地を離れることになっても、時には神明社の祭を思いお越して欲しい。故郷はいつも心の中にある。午後9時、祭りは終わると、上祖師谷に秋が来る。



## 「子どものころの祭」

祖師谷神明社奉賛会副会長 高橋光正

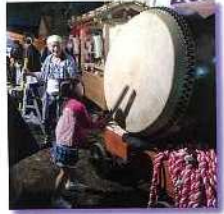
上祖師谷の神明社は、小高い丘の上にあつて、宮下橋の方から眺めると田舎の鎮守さまに似ている親近感があるという。

このお宮は、年に一回だけ輝いて見える。そのお宮は10月の第一日曜日が例大祭である。大人たちにとっては暗れがましい。子ども達にとっては、ワクワクするほど賑やかしい。

「祭りだ、祭りだ、豊年の祭りだ」とうたわれるように収穫の喜びとして行われる祭である。冷害、凶作の年は「トックリ祭り」と言われて、大人たちが酒を飲んでおしまひ。最近では祭りを毎年やるが、太平洋戦争直後はやらないう年の方が多かった。

祭りの一番の思い出は、子供神輿を担いだり、大太鼓を引っ張ると御神酒処(おみきしよ)で菓子を貰ったことである。当時の紙袋には煎餅、餛、キャラメル、酔イカ、アンズ、ビスケットがいっぱい詰まっていた。最終のお宮では長十郎の梨が配られた。

夜店では、射的、あてむき等が人気だった。祭の翌朝早くお宮の境内へ行く和二、三百円の小銭が拾えた。後の祭りとはよく言ったもので、正月もそうだが、「もういくつ寝るとお正月」と指折り数えて待っている時の方が楽しみなのである。



## どんな物語が生まれたらう 第25回トライアングルフェスタ

11月12日(日)

風は少し強いが、秋晴れに恵まれた。都立祖師谷公園「ぼるランド」では子どもたちによるゲームやさん、沢山の人がだかり。パークウエストプロムナードの「フィールドフェスティバル」では中学生模擬店が人気だ。道を挟んで上智大学祖師谷国際交流会館での「上智大学祖師谷文化祭」でも世界のキッチンがオープン。

地域の食欲を満たしている。3つの会場を結んで開催されるトライアングルフェスタ。今年もさまざまな思い出が生まれたらう。打ち合わせを重ね、準備し、そして当日。沢山のふれあいや出会いがあり、思い出が生まれる。特に初めて参加した小学生や中学生には貴重な体験になったと思う。

開会の挨拶で内藤高公実行委員長は「トライアングルフェスタは今年で25回目。小学一年で参加した人たちは30歳を超えたことになりました」と述べられた。一年の物語の積み重ねで25年を迎えている。今日参加した子どもたちも、様々な体験をバネに大きく育ってほしい。



## 小さなコンサートの大きな感動

上祖師谷4丁目スタジオ 10月15日(日)

第17回いこいのコンサートは、あいにくの雨で中止となった。そこで急遽、上祖師谷4丁目のスタジオ「M's Base」をお借りしてミニコンサートを開催することになった。席数に限りがあり、地域の皆さんに広く呼び掛けることは出来なかったが、上祖師谷中吹奏楽部の生徒や上祖師谷音楽のまちづくりのメンバーが集まった。

初出演となる予定だった2組「アンサンブル・リリ」と「谷口英治三人でベイシ」に出演いただき、急ごしらえのコンサートであったが、じつくりと楽しむことが出来た。

来年は青空のもとで、地域の多くの音楽愛好家の皆さんと一緒に楽しむたいと思う。



## 交通事故0のまちへ 秋の全国交通安全運動に協力 自治会交通部



秋の交通安全運動が9月21日〜30日まで開催。この間自治会交通部も成城警察署、交通安全協会に協力、地域の交通安全の啓蒙をはかった。自治会事務所にテントを設営し、交通部および自治会有志50名ほどが参加。毎日5〜6名が交代で常駐し、道行く車に交通安全を呼びかけた。また、巡回車による交通事故ゼロのまちへの徹底を図った。



## ゴミゼロのまちへ 「ゴミ0デー」

9月10日(日) 自治会福祉厚生部



回収されたゴミの量は以前に比べだいぶ減っていると言いますが、それでも東地区でゴミ袋15個分はあった。ゴミ0のまち上祖師谷へ、皆さんで実現させたい。

今回もやはり目立ったのがタバコの吸い殻だ。大人が捨てた吸い殻を子どもが拾う。大人として恥ずかしい光景だ。回収されたゴミの量は以前に比べだいぶ減っていると言いますが、それでも東地区でゴミ袋15個分はあった。ゴミ0のまち上祖師谷へ、皆さんで実現させたい。

外国からの旅行者が日本でも驚くのは街中にごみが捨てられていないことだと言います。上祖師谷自治会では福祉厚生部が主体で20年ほど前から春、秋の二日「ゴミ0デー」を続けている。この日も仙川を挟んで西と東に分かれ道路や空き地のゴミを回収した。東地区では親子や高齢者など20人ほどが参加。富士ガスの皆さんも応援に駆けつけてくれた。

元気はつらつ

【主催】上祖師谷自治会  
福利厚生部

自治会が主催する年間を通したイベント。どなたでも参加できます。お気軽にどうぞ。回覧版、自治会掲示板でお知らせします。  
\*毎月第2金曜日開催

第5回「歌声サロン」

9月8日(金) 神明社社務所

人は歌うことが大好きだ。元気はつらつでは初めての試みだったが沢山の人が集まった。大声で歌うことは脳の活性化にも良いという。「明日があるさ」「五番街のマリー」「旅人よ」青春時代の懐かしい歌が続く。学生の頃通った、新宿の歌声喫茶「ともしび」をつい思い出した。リードして頂いたのは「ふれあいカルテット」7名の皆さん。主に鳥山近辺で活動しているそうだ。ほぼ1時間30分、休憩もそこそこにお付き合い頂いた。お疲れさまでした。



第6回「ウクレレと日舞発表」

10月14日(金) 神明社社務所

今回の元気はつらつは、自治会主催の日舞教室「秋桜の会」とウクレレ教室「上祖メンバーズ」の発表会だ。「秋桜の会」は衣装を一新。会場にはカメラ片手に奥さんの応援に駆け付けたご主人やお友達でアットホームな盛り上がりを見せていた。いつもと違う着物の奥さんに惚れ直した人も多かったに違いない。ウクレレと言えばハワイアンと思う人が多いが「上祖メンバーズ・ウクレレLove」は少し違う。ウクレレ伴奏で「京都大原三千院〜」と日本の哀愁を歌ったかと思えば、「南国の夜」や「ろくでなし」。さらには「コーヒールンパ」やタンゴにまでレパートリーはおよぶ。びっくりだ。



農業体験

地域の親子が対象

「じゃがいもクラブ」「だいこんクラブ」が、種の植付けから収穫まで、年3〜4回土曜日に行っています。※事前申込み制●世田谷区報・募集要項でお知らせします。

地域の交流も育ってほしい

だいこんクラブ種まき 9月16日(土)

定刻10時、吉岡農園の畑にはすでにだいこんの種まきが始まっていた。大型台風が接近中とのことで、雨に備え参加者の到着順に種まきとなったのだ。畑の畝を黒いビニールシートで覆い、10センチほどの穴が2列に並んで開いている。その穴に3粒ずつ種を植えて行く。最初は土を触ることに戸惑っていた子どもたちも慣れるものだし、土がぬれぬれにし、土が濡れた。今年には青首大根と大蔵大根を植えた。最後は皆さんで自己紹介。この後、10時半の間の引き、11月末の収穫で顔を合わせる。地域の交流も大きく育ってほしい。



小春日和の中で、収穫

かぶクラブ 11月4日(土)

間引きでは雨にたたられたが、今日は絶好の収穫日和となった。9月初旬にまいた小さな小さな種は2か月たつて大きく育った。かぶは大根と違って地中深くと言いつては比較的小さな種が、子どもたちもそこが楽しいようです。かぶは家族10株ずつの収穫だったがあつという間に終わってしまった。かぶクラブは「上祖師谷身近なまちづくり推進協議会」の主催だったが、まさに身近なところこんな農業体験ができることはうれしかった。協力いただいた吉岡農園にはほんとうに感謝したい。



第6回和太鼓ワークわく 神明社社務所 9月17日(日)

今年も「太鼓と芝居のたまご座」のお兄さんたちが来てくれた。雨の影響もあつてか参加者はやや少ないが20組ほどの親子が集まった。お兄さんたちの和太鼓ライブが終わるといよいよワークショップだ。「ジャンブドン！」思いっきり太鼓をたたきながらジャンプしたり太鼓の周りをぐるぐる回ったり元気に楽しんでいく。お母さんやお父さんも子どもたちに背中を押され、輪に入った。はじめは遠慮がちだったが徐々に大きな音が出始めた。親子で和太鼓。自宅ではなかなかこうはいかない。思いっきり汗を流した1時間30分だったよう



お兄さんたちの和太鼓ライブが終わるといよいよワークショップだ。「ジャンブドン！」思いっきり太鼓をたたきながらジャンプしたり太鼓の周りをぐるぐる回ったり元気に楽しんでいく。お母さんやお父さんも子どもたちに背中を押され、輪に入った。はじめは遠慮がちだったが徐々に大きな音が出始めた。親子で和太鼓。自宅ではなかなかこうはいかない。思いっきり汗を流した1時間30分だったよう

どんぐりコロリン・ピック2017 IN 都立祖師谷公園 10月15日(日)

あいにくの雨でキッズアスレチックは中止となったが、どんぐり工作は、公園管理事務所2Fに場所を移して開催され、沢山の親子連れが楽しんだ。公園で拾ったどんぐりや小枝で森の生き物を作る。子どもたちは発想が豊かで作るものが大好きだ。夢中で手を動かしている。出来上がった時の満足そうな笑顔がなんとも微笑ましい。来年は青空の下でのびのびとキッズアスレチックス&どんぐり工作を楽しみたいものだ。



千歳中 地元農園で農業体験

10月25日(水)〜27日(金)

千歳中学では2年生全員がこの時期、職業体験学習を行っている。今年もそれぞれが希望する地域の事業所に分かれ体験学習を行った。上祖師谷四丁目吉岡さんの農園でも4名の生徒が訪れ、この日はえんどうの種まきを行った。10センチほどのポットに肥料を混ぜた土を入れ、種を蒔いていく。来年5月に収穫となるそうだ。自分の蒔いた種の成長にはかかわれないが、これから植え替えや水やり、農家の方の努力が続く。



地元神明社で七五三

11月12日(日)

秋晴れのこの日、神明社には子どもたちの健やかな成長を願う家族たちが訪れていた。七五三のお祝いだ。近年地元元氏神様にお祈りする傾向が強いようだ。日々の暮らしの近くの神社におまじりし家族でお祈りする。ごく自然な流れなのかもしれない。特にこの界限では地域のつながりも強く、親子2代に渡って神明社で七五三と言う家族もいると思う。上祖師谷の子供たちは夢に向かって大きく羽ばたいて欲しい。



お知らせ

初詣

神明社 甘酒サービス

1月1日 0時〜2時

編集後記

今年も雨が多く、中止になったイベントも多い。来年は、ぜひ青空の下で地域の皆さんとともに楽しみたい。(oy)

年に一度のその日のために準備してきたのに雨で中止。でも決して何も残らないわけではない。(w)